

## 大切な水

「この先通行止め」  
それを見たのは去年の夏、家族と三重県へ車で旅行に行く途中のことでした。奈良県北部に住んでいる私は三重県南部へ行くためには奈良県南部を通らなくてはなりませんでした。山道を進み、十津川村にさしかかるときにこの標識がありました。迂回して道をはしっている、川を挟んだ対岸に土砂崩れがいくつかありました。それは数年前におきた、大洪水の被害でした。山の下の方には、そこまで川の水位が上昇したのか、木がなく、土がむき出しの状態でした。このことはニュースで見えていて知っていました。このことはニュースで想像をしていたものよりも悲惨でした。私の家の前にも川があります。私のお父さんが若いころ、大雨が降って、川の水がすぐそこまできたから避難したことが

桜井市立桜井東中学校 三年

森上 真夕子

あったで。」  
と父が話していました。いつも整然としている川が、そんなふうになるなど、考えられませんでした。  
しかし、川は怖くもありませんが、同時に豊かさをもたらしてくれます。私の街には道路のわきに水路が流れています。昔は洗濯物をするのに使っていたのか、小さな階段がついています。今はほとんど使われていませんが、夏になると水の音がずしく感じられるし、冬になると雪をとかしてくれます。  
川が一番私達にもたらしてくれるのは、飲料水です。家の前の川の上流の浄水場でろ過し、殺菌したものが水道水として運ばれてきます。夏でも冷たく、しかもおいしい水です。私は水が大好きです。喉を潤してくれるし、

便秘の解消など体も整えてくれます。心にも豊かさをくれるし、何よりも「生命の源」だからです。体は約八〇パーセントが水分でできています。それ以上になると命が危険になることもあります。だから、水はなくてはならないものです。

現に文明も水を拠点として発展してきました。四大文明を見ると、メソポタミア文明はチグリス川・ユーフラテス川流域に、エジプト文明はナイル川流域というように、大河を中心としてきました。水と人間を含む生物は密接な関係で結ばれているんだと実感しました。

水は森林とも関わっていると思います。海から水分が蒸発し、冷やされ雲となり、雨や雪となり、地表に降り注ぎます。雨水は地表に浸透し、地下水として地表からでて、小さな流れから川となり、また、海へ流れていく。その循環の途中に森林があることで、豊かな美味しい水が日本にあると思います。しかし、世界では十分に水が飲めない国がたくさんあることを知りました。脱水症状をおこして亡くなっていく子供や、飲めても水

の中にある細菌で亡くなっていく人々がいることも知りました。それは、あるテレビ番組を見てからでした。その番組は、日本人がアフリカの水不足の村へ行き、井戸を掘って助けるというものでした。その村には川がなく、近くの川まで数キロメートルも歩かなければなりませんでした。

いま、人口が増え続けています。しかし「水の惑星」といわれる地球でも、水のほとんどは海水で飲料水となる水は一パーセントもありません。この限られている資源をどう使うかが求められると思います。

私達に今できることは、水の無駄遣いをなくすことです。そして、心や体を豊かにしてくれる水やそれをつくりだしてくれる森林に感謝していきたいです。







